

職務経歴書

経験職務分野・領域ごとに記入して下さい。

会社名 所属・職位(部下の数)	開始年月 (期間 年月)	内容・経験・実績・専門知識 等
A株式会社 店長	1997年 4月 (2年間)	<p>■飲食店、店長</p> <ul style="list-style-type: none"> 接客、売上管理、従業員の採用・指導、イベントの立案・実行 新規出店の工程管理、決算書の作成(収支予想等) <p>◆売上管理や収支予想などを実際に行う中で、会計分野に非常に興味を持つようになり、税理士を目指すことにいたしました。会計業務は未経験ですが、サービス業で培った接客のノウハウを活かし、お客様を第一に考えられる税理士になりたいと思い、転職いたしました。</p>
B会計事務所	2000年 1月 (5年5ヶ月間)	<p>■税理士補助業務に従事</p> <p>顧客訪問・仕訳・記帳、月次・年次決算、申告書作成、税務相談 等</p> <p>■法人、個人の税務業務</p> <ul style="list-style-type: none"> ◎法人10件・個人事業主4件 【主な顧客】 サービス業(資本金1000万円 売上高 2億円) メーカー (資本金2000万円 売上高 4億円) ◎個人確定申告20件 ◎社会保険事務手続 資格取得及び喪失(平均:月に2・3件) 給与計算業務10件(規模:5人～50人の規模の企業) ※うち外資系企業3件 算定基礎、労働保険申告 ◎相続税・贈与税 <p>■主な業績</p> <p>赤字の企業の経営者の親身になって話を伺っていくうちに、企業の問題点が見えてきました。税務は過去の数字を見るのではなく、将来の数字を創るためのものであると考え、短期的経営方針と長期的経営方針を考え提案。2年で業績を上げ黒字にすることに成功。こういった成功から、新規顧客を紹介して頂くなど、顧客拡大にもつながりました。</p> <p>■転職理由</p> <p>現職では、全般的な会計業務に携わってまいりました。今後はベンチャー企業の経営指導、株式公開支援等を行っていきたいと考えようになり、転職を決意いたしました。今までの税務相談等の経験を活かし、クライアントと共に成長していける環境に身を置きたいと考えております。</p>